

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》マタイによる福音書 23:1-12

けん せん
謙遜

きょうかい れきし なか けんせん こと
教会の歴史の中で、「謙遜」という言
ば たいせつ しんじゃ つね ところ
葉が大切にされ、キリスト信者が常に心
がけるべきこととされてきました。しか
し、その結果、何事に対しても積極的
なれず、常に受け身になってしまうキリ
スト信者を作ってしまった。

どうしてこのようなことになったので
しょうか。イエスの時代の律法学者たち
やファリサイ派の人々は、自分たちは常
に正しいことを行ない、律法をきちんと
守っているという誇りを持っていました。
それだけならまだよかったのですが、貧
しいために律法を守れない人々や、病氣
の人を軽蔑していました。
確かに、自分の行動に誇りを持つこと
は大切です。しかし、だからといって、
人を軽蔑することとは違います。イエス
が言いたかったのは、このようなごうま
んな考えを捨てるようにということなの

です。

じつ こう
実行

むかし ふ げんじつこう い
昔から、不言実行とされています。
言うことは簡単ですが、実行することは
むずかしいのです。そのために、自分は
これこれのことを実行しますと言わない
で、黙って実行しなさいと言われてきた
のです。
私たちはどうすればいいのでしょうか。
いつも謙遜にして、じっとしていればい
いのでしょうか。イエスは決してそのよ
うな態度を望んでいたわけではありませ
ん。できそうもないことを、やりますと
言うのではなく、たとえ小さなことでも、
自分にできそうなことを探して実行する
ことが必要なのです。
自分ではとてもできないとあきらめて
いることでも、人の意見を聞くことで、
自分にも何かできそうなことを見つける
ことができるかもしれません。
ねんかんたい しゅじつ ねん たきの
年間第31主日A年（滝野）